

「目標管理シート」

2023・5・13 重枝 一郎

「目標管理シート」のご提出よろしくお願ひします。5月末締め切り。

私は、「ひとりひとり見えている世界が違う」と常々言ってきた。誰かの「見えている世界」を知るには、言葉にしてもらわなければならない。そして、言葉にってもらうためには仲良くしておくことが大切であると。その相手の「見えている世界」を知ることにつながるのが、この「目標管理シート」になる。それがわかるとマッチした声かけや具体的な応援・支援ができる。これは、クラスでの生徒指導でも同じ考え方のはずである。生徒が目標を立てるのも、学習効果を高めるのは言うまでもないが、下の①～③のような考えにつながることも話してほしい。集団づくりをする上での他者理解になる。

何度も言いますが、この「管理」とは、私が先生方を管理するのが目的ではなく、“自分で自分の目標を管理する”ということである。そして、私から言いたいことは、「せめて隣に座っている人、同教科、同分掌の人の目標は読んでほしい」。

【本年度からの方は、「校長研修だより55」を読んでください】

「相手の見えている世界」を知ると、次の3つのことが生まれると考えている。

① コミュニケーションはもっとスムーズになる

私たちは何となく相手と接するとき、一瞬で判断して、自分なりに相手のイメージをつくる。その判断には、知識も必要だが、それなりの経験も影響している。しかし、その相手と深く接していくと、そのイメージが当たっていないことも少なくない。「目標管理シート」の①～③はプロ教師としての先生方の実践を知ることができる。④「生産性の向上（自分が生徒の前で Good パフォーマンスを出すための工夫）」のところでは、先生方の人間味を感じるが多々ある。相手に対して感覚的でなく客観的に洞察するとともに、どんなことでも自分だけの知恵で考えるより、広く他者から知恵を借りることにもなると思う。

② 自分で決めた目標に価値を見出すきっかけになる

他者に与えられた目標でなく、自分で決めたものに価値があると思いたいのが人間の心理である。これをコントロールイリュージョンという。先生方が「〇〇についてどうしようか」と考え、実行することは、相対評価でなく、絶対評価を基本とした判断をすることでさまざまな価値を見出すことができる。

③ 世界を広げ、自分とは異なる価値観を学ぶことができる

他者が「どうしてこういう行動をとったのだろう」とかその人の真意を知ることができたり、自分とは違う価値観に触れたりすることが可能になると思う。その人を好きになる判断材料を増やしてほしいと思う。そして、他者をリスペクトし、その価値観を尊重してほしい。たとえ「自分の意見とは違うな」と感じて、コミュニケーションをあくまでもスムーズに運ぶことに重点をおいてほしい。結果的に自分の想像力が磨かれ、相手の気持ちが変わるようになると思う。